

政務活動報告書 No.1

活動事項	林野庁へ情報収集と要望
活動年月日	令和2年10月29日(木)
場所	東京都 林野庁
活動の相手方	林野庁長官、整備課長、林政部経営課長、舞立参院議員秘書
目的・内容・結果等	<p>【目的】 主伐後の再生林の確保に向けて、林野庁が計画している内容を情報収集する。</p> <p>【内容】 林野庁長官はじめ、整備課長、林政部経営課長から、再生林の推進について説明を受けた。 現在、スギ・ヒノキ等伐採適齢に達した山林樹木の主伐が進んでいるが、伐採後の再生林が進んでいないことについて。 ・森林所有者等の林業経営に大きく影響する、木材価格の低迷、造林費用の負担が大きい。 再生林の確保に向けて ・長期にわたり持続的な林業経営を担う者に経営委託を進め、造林費用の低減を進める。 ・長期にわたり持続的な林業経営を担う者が、収益を確保し、再生林を実施していくため、森林経営管理制度による林業経営者への経営委託も活用。 ・再生林に必要な労働力不足のおそれがあるため、イノベーションによる再生林を推進する。</p> <p>要望について 森林の荒廃防止及び林業経営者の減少をくい止めるため、これまで以上の林業関係予算確保を要望。</p>

【結果（成果）と課題等】

再造林のため、コンテナ苗を活用した伐採と造林の一環作業の標準化、低密度植栽など費用の低減、省力化・効率化を進めることが不可欠。

過去に実施された低密度植栽試験地の事例も参考にしながら、今後県内での再造林に取り組む団体、経営者などの支援を提言する。

関連領収書番号

1012

政務活動報告書 No.2

活動事項	森林・林業・林産業活性化促進地方議連全国会議第3回役員会
活動年月日	令和2年11月11日(水)
場所	東京都 三会堂ビルA会議室、衆議院第一議員会館、農林水産省
活動の相手方	林活地方議連全国連絡会議役員、林野庁森林整備部長、農林水産大臣、林野庁次長、国会議員
目的・内容・結果等	<p>【目的】 鳥取県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟の会長として全国会議に出席し、林業全般の振興をはかるため、情報収集と意見交換を行いながら、鳥取県における施策への提案・提言を行う。</p> <p>【内容】 1. 2年度第3回役員会に出席 ・林野関係予算に係る要望書について検討 ・令和3年度の林活地方議連の活動予定について検討 ・林野庁からの講話 森林・林業基本計画の実績と最近の情勢等について 2. 農林水産大臣に面会要請 農林水産省へ出向き、大臣に面会して林野関係予算に関する要請活動を行った。</p> <p>【結果(成果)と課題等】 農林水産大臣に直接面会して森林・林業の実情を話し合い、関連する予算確保の要請を行ったことは大きな意義がある。 県の新年度林野関係予算に効果をもたらせるよう今後も役職として活動を行っていく。</p>
関連領収書番号	1104、1109、1110、1114

政務活動報告書 No.3

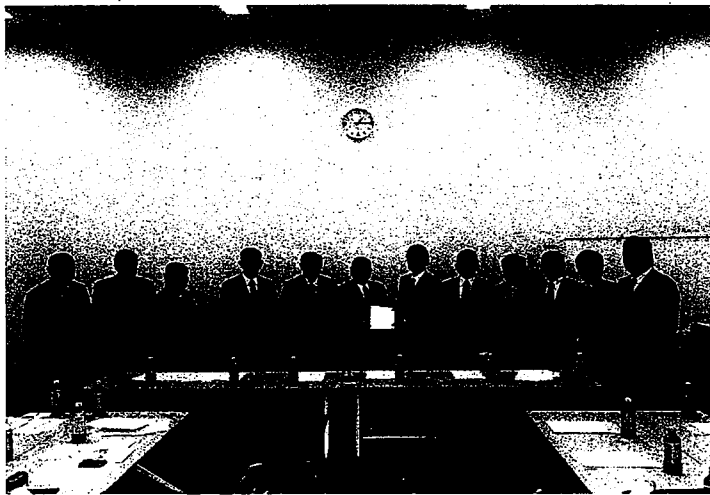
活動事項	道路財源確保を求める都道府県議会議員の会
活動年月日	令和2年11月12日(木)
場所	東京都 参議院議員会館、財務省
活動の相手方	道路財源確保を求める都道府県議会議員の会世話人、国土交通省道路局長・大臣官房審議官他、財務省太田事務次官
目的・内容・結果等	<p>【目的】 高速道路をはじめ、真に必要な道路整備を着実に進めるための財源確保を求めて活動する。</p> <p>【内容】</p> <p>1. 世話人会勉強会 国土交通省道路局からの話題提供 「道路行政を取り巻く最近の情勢について」 令和3年度予算の概算要求方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要求額は、基本的に対前年度同額 ・新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費は、別途所要の要望を行うことができる→ <ul style="list-style-type: none"> 防災、減災、国土強靱化 } 自然災害への対応 予防保全による老朽化対策 } 人流・物流を支えるネットワークの整備 } 新型コロナ 安全・安心や賑わいを創出する空間の利活用 } ウイルス感 道路システムのDX } 染症対応 <p>その他</p> <p>2. 世話人会 要望書の趣旨説明・決議</p> <p>3. 要望書手渡し 自民党本部二階幹事長、財務省太田事務次官、国土交通省岩井副大臣に、グループに別れて出向き要望書を提出した。 その中で、財務省へは6名で出向き太田事務次官へ直接手渡しを行った。</p>

【結果（成果）と課題等】

今回要望を行った財務省太田事務次官との懇談において、「特定財源を道路のために新設した方が良いのではないか。使えば道路は傷む。」という意見を上げたところ、事務次官からは、「財務当局としてはそう思う。ちゃんとした特定財源がある方が、いろんな事ができる。議員の方々の力を是非借りたい。」という考えを述べていただいた。

また後日、国交省吉岡道路局長から、令和2年度第3次補正予算、令和3年度当初予算及び地方整備局の定員についての報告とこの世話人会の尽力に対する御礼があったので、活動の成果は上がっていると思える。

新型コロナウイルス感染症が日本中に拡大し、航空機や新幹線などの鉄道については大きく利用を削減される中、高速道路をはじめとする道路が緊急時に対応できる交通手段である。道路網の整備は喫緊の課題として、その財源確保は重要であり、全国の世話人会と協調して今後も活動を行っていく。



関連領収書番号

1104、1109、1110、1114

政務活動報告書 No.4

活動事項	中国横断道岡山米子線（蒜山IC～境港間）整備促進総決起大会
活動年月日	令和2年11月13日（金）
場所	東京都 衆議院第1議員会館
活動の相手方	国会議員（自民党国土交通部長・鳥取県選出議員）、国土交通省道路局長他、西日本高速道路（株）役員、整備促進期成同盟会 他
目的・内容・結果等	<p>【目的】 本年から大会名が標記に変わったが、中国横断道岡山米子線の整備及び利用促進のための要望活動は引き続き重要で、道路整備全般に関して積極的に活動する。</p> <p>【内容】 中国横断自動車道岡山米子線の4車線化促進のみならず、米子境港間高規格幹線道路など、整備全般に関して活動を行う必要があり、期成同盟会並びに鳥取県議連も名称を変更して今決起大会が開催された。 中国横断自動車道岡山米子線は、鳥取県西部地域と山陽・四国・関西方面を結ぶ人流・物流の大動脈として、中海・宍道湖・大山圏域の産業・経済を支える重要な社会基盤である。地方創生を深化させ、安定した生産活動、地域経済の更なる成長による持続可能な地域社会の構築に向けて決議案が提出された。 決議では、これまで要望してきた件の早期実現を図ることと、新たに米子・境港間を結ぶ高規格幹線道路の事業化について早期実現が図られるよう要望することとなった。</p> <p>【結果（成果）と課題等】 鳥取県西部地域と山陽・四国・関西方面を結ぶ人流・物流の大動脈として、中海・宍道湖・大山圏域の産業・経済を支える重要な社会基盤の整備は、鳥取県・島根県にとって重要課題で、今後も積極的な活動を行うことの意味統一が図られた。</p>
関連領収書番号	1104、1114